



# 走行モータ及びホイールモータ交換キット

Greensmaster® eTriFlex® 3360 および 3370 トラクションユニット用

モデル番号 147-3051

モデル番号 147-3052

モデル番号 147-3053

モデル番号 147-3054

## 取り付け要領

## 取り付け

# 1

### マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

#### 手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. カuttingユニットを下降させる。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 機体の電源コネクタを外す; マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

# 2

### 車体をジャッキで持ち上げる場合

必要なパーツはありません。

#### 手順

マシンを持ち上げるマシンのオペレーターズマニュアルの整備前の準備の項を参照。


# 3

### 前輪を取り外す

必要なパーツはありません。

#### 手順

**注** 左側のモータモデル No. 147-3052 または 147-3054 を交換する場合には、左前車輪を外します。右側のモータモデル No. 147-3051 または 147-3053 を交換する場合には、右前車輪を外します。

1. ホイールラグナットをゆるめて外す  1。

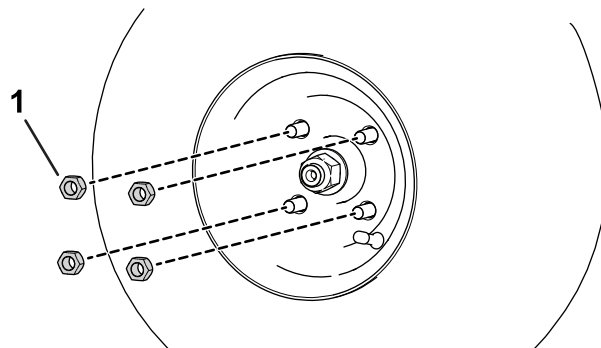


図 1

g280226

1. ラグナット
2. タイヤを外す。



# 4

## 前輪のハブを外す

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 前輪のハブのロックナットを少なくとも2回転ゆるめる。
2. プラー爪が3個あるものを使用して、ギアボックスのシャフトについている前輪アセンブリをゆるめる。

**重要** 前輪のハブやギアボックスアセンブリを取り外すときに、ハンマーで叩かないでください。ハンマーで叩くとギアボックスを破損する恐れがあります。

3. ホイールハブのロックナットとワッシャを外して、ホイールハブを取り外す [図 2](#)。
4. 半月キーを抜き取る [図 2](#)。

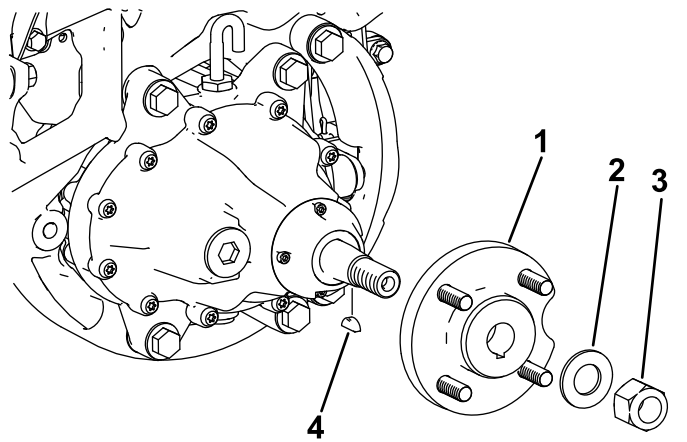


図 2

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1. ハブ   | 3. ロックナット |
| 2. ワッシャ | 4. 半月キー   |

# 5

## 走行モータのギアボックスのオイルを抜き取る

必要なパーツはありません。

### 手順

1. ホイールモータアセンブリ下にオイルを受ける容器を置く [図 3](#)。

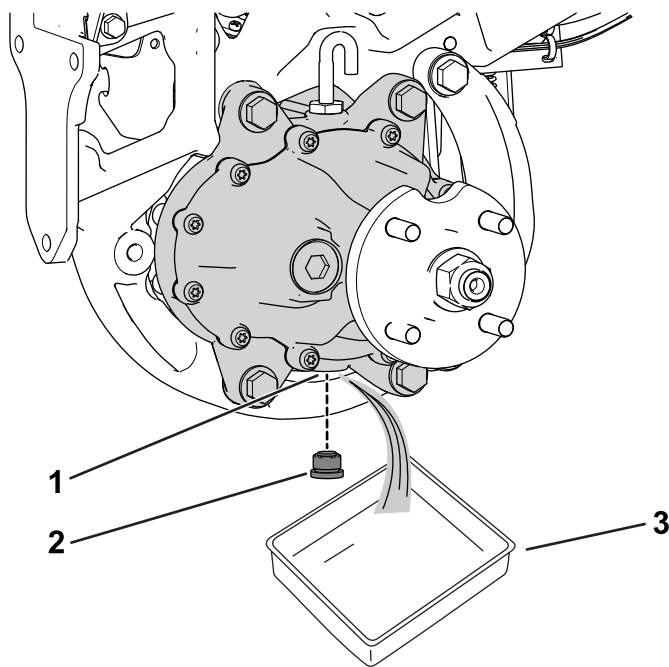


図 3

- |           |       |
|-----------|-------|
| 1. ドレンポート | 3. 容器 |
| 2. ドレンプラグ |       |

2. ドレンポートからプラグを外す [図 3](#)。

**注** ドレンポートはギアボックスの底部にあります。

**注** オイルが完全に抜けるまで待ってください。

3. プラグをきれいに拭く。
4. ドレンポートにドレンプラグを取り付ける [図 3](#)。

# 6

## 既存のモータを取り外す

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 走行モータP/N 147-3051 または 147-3052を交換する場合は、以下のように既存のモータを取り外す。

- A. 既存のモーターアセンブリから、ギアボックス及び関連ハードウェアを取り外して保管するマシンの *サービスマニュアル*を参照。
  - B. 既存のモータアセンブリを取り外して廃棄するマシンの *サービスマニュアル*を参照。
2. ホイールモータP/N 147-3053または147-3054を交換する場合は、既存のモータアセンブリを取り外して廃棄するマシンの *サービスマニュアル*を参照。

# 7

## ワイヤハーネスのアダプタを取りつける

この作業に必要なパーツ

1	モータアセンブリ
1	ワイヤハーネスモータアダプタ
6	オープンエンドスプライス
1	クローズドエンドスプライス

### 手順

1. モータのワイヤーハーネスから、既存のモータアダプタを切り離す。



図 4

g386267

1. 既存のモータアダプタ

2. ここで切り離す

2. 結線部が同じ場所に集中しないようにするため、ハーネスの電線を少しずらして切る [図 5](#)を参照。
3. 新しいアダプタの電線を適切な長さにカットする [図 5](#)。
4. アダプタの電線 6 線とハーネスの電線 7 本から絶縁被覆をそれぞれ約 9.5 mm ずつ剥く [図 5](#)。

**重要** 被覆を剥くときに電線に傷をつけないように注意してください。

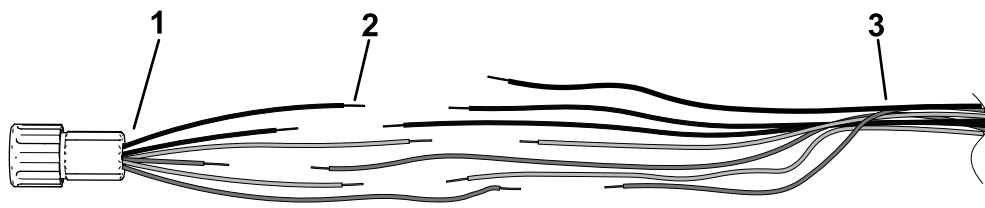


図 5

g386280

1. モーターのアダプタキットの付属品
2. コードの露出 9.5 mm
3. 既存のワイヤハーネス

5. 結線用の接着剤が確実に接着するように、絶縁体が汚れていないこと、銅線部が腐食していないことを確認する。
6. 既存のワイヤハーネスの灰色の電線の 1 本に、サイズ 22-14 AWG の合うカシメ工具を使って、クローズドエンドスプライスを取り付ける 図 6 の A を参照。

**注** スプライスをカシメる時に絶縁被覆を傷つけないように注意してください。

7. 適切なヒートガンを使用して、接着剤がはみ出るまでスプライスの絶縁体を熱収縮させる 図 6 の B。

**注** 絶縁体を熱しすぎたり、焼いたりしないように注意してください。

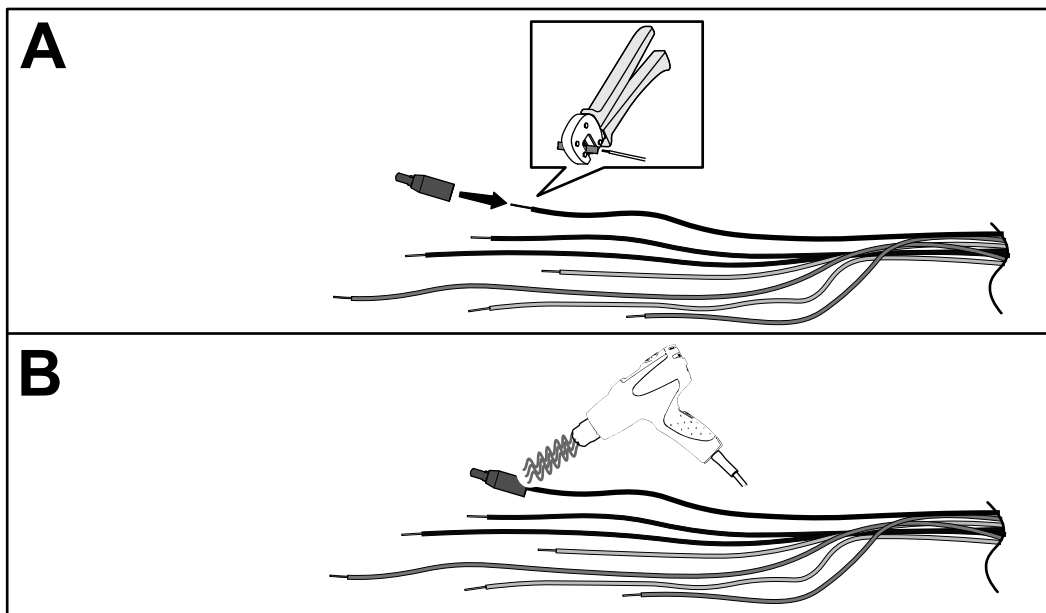


図 6

g390752

8. 既存のワイヤハーネスの、残り 6 本の電線に、サイズ 20-18 AWG の合うカシメ工具を使って、オープンエンドスプライスを取り付ける。1 個ずつ作業すること 図 7 の A を参照。

**注** スプライスをカシメる時に絶縁被覆を傷つけないように注意してください。

9. モーターアダプターの各電線を、対応するオープンエンドスプライスに、色を合わせて挿入し、コネクタを確実に圧着する 図 7 の B。
10. 適切なヒートガンを使用して、両端から接着剤がはみ出るまでスプライスの絶縁体を熱収縮させる 図 7 の C。

**注** 絶縁体を熱しすぎたり、焼いたりしないように注意してください。

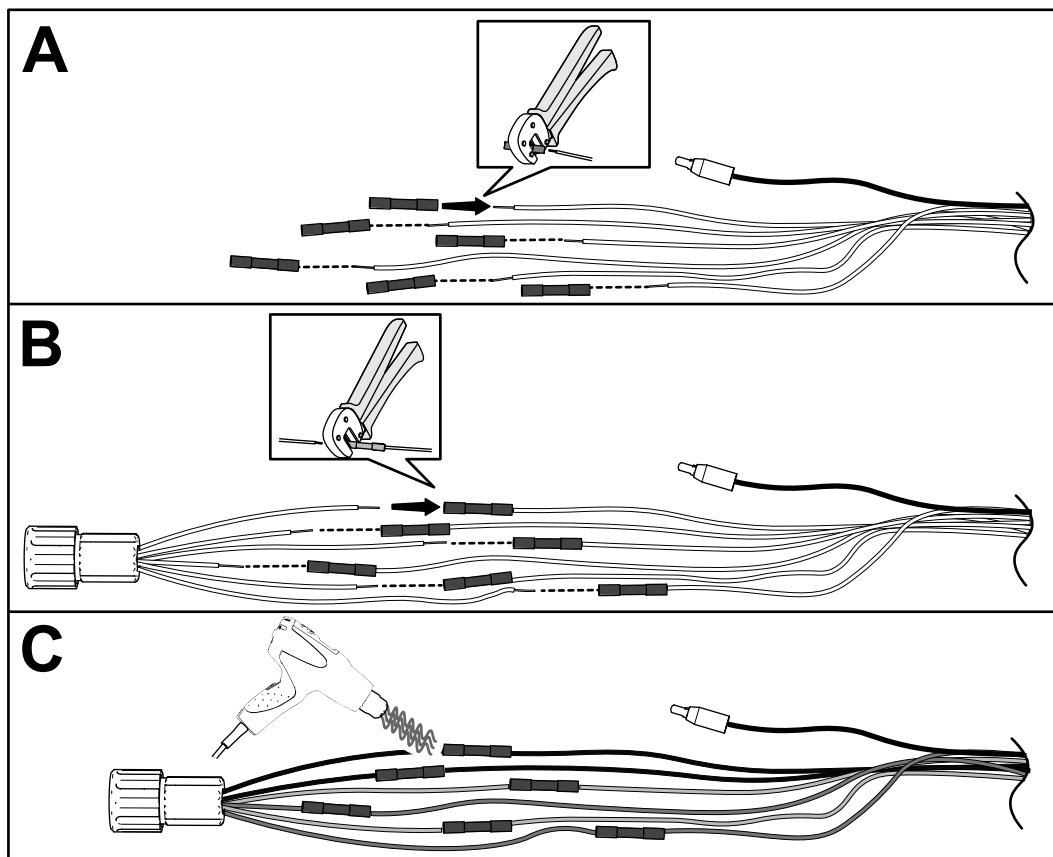


図 7

g386293

# 8

## モータを取り付ける

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 走行モータP/N 147-3051または147-3052を交換している場合は、ステップ16 既存のモータを取り外す (ページ 2) で外したギアボックスをここで新しいモータに取り付ける。マシンのサービスマニュアルを参照。
2. マシンにモータアセンブリを取り付けるマシンのサービスマニュアルを参照。

# 9

## 前輪のハブを取り付ける

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 先ほど外しておいたハブを、ロックナットとワッシャで元通りに取り付ける [図 8](#)。
2. ナットを 237-305 N·m / 24.2-31.1 kg·m = 175-225 ft·lb にトルク締めする。
3. 半月キーを取り付ける [図 8](#)。

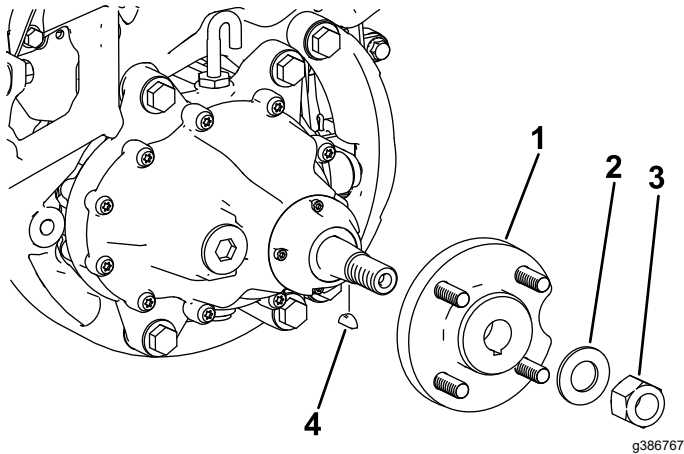


図 8

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1. ハブ   | 3. ロックナット |
| 2. ワッシャ | 4. 半月キー   |

# 10

## 走行モータのギアボックスにオイルを入れる

必要なパーツはありません。

### 手順

**重要** ギアボックスに適正量のオイルを入れるためには機体が水平であることが必要です。

ジャッキスタンドで機体を水平に支持してください。

1. ギアボックス上部から換気ホースとフィッティングを外す [図 9](#)。

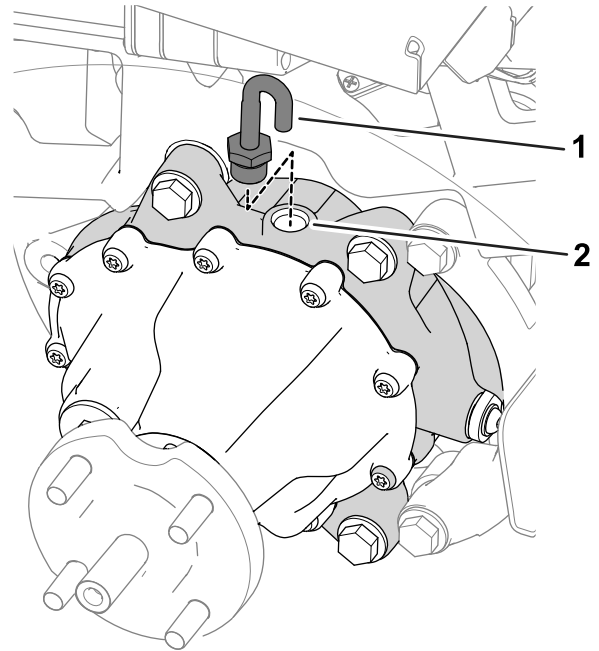


図 9

g278149

1. 換気ホースとフィッティング 2. 補給ポート

2. 給油ポートから SAE 80W90 オイルを 384 ml 入れる。
3. 給油ポートに換気ホースとフィッティングを取り付ける [図 9](#)。

# 11

## 前輪を取り付ける

必要なパーツはありません。

### 手順

1. ホイールハブにタイヤを取り付ける。
2. ホイールラグナットを取り付ける [図 10](#)。

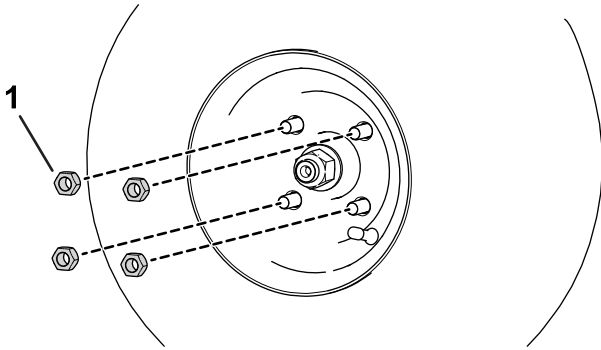


図 10

g280226

1. ラグナット

3. [図 11](#)のように対角線パターンで、ラグナットをトルク締めする 108-122 N·m 11-12 kg·m = 80 to 90 ft-lb。

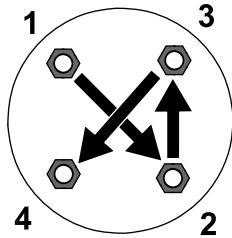


図 11

g274650

# 12

## 組み立てを完了する

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 機体を床に降ろす。
2. 車両の電源コネクタを接続する; マシンのオペレーターズマニュアルを参照。
3. 走行モータの試運転を行うマシンのサービスマニュアルを参照。
4. 走行モータのキャリブレーションを行うマシンのサービスマニュアルを参照。



**Count on it.**